

# 降った雨を自分で測ってみよう ペットボトルで雨量計を作ろう



雨の量は、どうやって測っているのかな？ 気象庁では、「転倒ます型」の雨量計を使って観測していますが、もっと簡単な雨量計でも雨を測ることができます。

この講座では、ペットボトルを使って雨量計を作ります。大きなペットボトルと小さなペットボトルを組み合わせることで、雨水がたまる様子が観察しやすいように工夫されています。

夏休みの自由研究対策として、フォローアップ講座を開催することもできます。そこでは、参加者に自作の雨量計で観測した結果を持ち寄ってもらい、近隣で気象庁などによって観測されたデータと比較しながら、観測結果をまとめます。

フォローアップ講座は、工作から2～3週間後の開催、また、インターネット接続環境のある会場が望ましいです。

高学年を対象としたフォローアップ講座では、「どのような気象状況で雨が降ったか」など、一步踏み込んだ考察も行います。

天気図の読み解き方を含む発展的内容で、自由研究の完成度を高めたい参加者に好評です。

雨量計工作には、2リットルの大きなペットボトル(丸型)と500ミリリットルの小さなペットボトル(丸型)の参加者による持参が必要です。その他必要な工作に必要な部材についてはご相談ください。部材などは当会で調達もできます。その際は一人当たり150円程度を目安にお考えください。



大小のペットボトルを組み合わせ、雨量計を作ります。



フォローアップ講座では雨量測定の結果をグラフに纏めます。